

第1部

《本号は 8 ページ》

赤穂民報はいつも4ページの発行ですが、本号は8ページです。もう一部(4ページ)発行していますのでどうぞご愛読下さい。

赤穂民報

発行所
赤穂民報社
赤穂市加里屋駅前町58-18
TEL 43-1886
FAX 46-2626
編集発行人 広島三郎

建築士と建てる ツーバイフォー・輸入住宅

株式会社 セルビーハウジング

曙にみよしを向ける初御空

赤穂御崎沖の空を紅に染める朝日に向かって船が進む。今年の干支は己丑（つちのと・うし）。白川静著「字通」によると、「己」は「角度を定める定規や糸の巻取りに用いる器」をかたどり、「丑」は「指先に力を入れて曲げ、強くものをとる形」を示すという。進路を定め、複雑に絡んだ難問を解決し、成果をつかみ取る一年になることを願う。掲載提供は「総本家かん川」。

老舗の歴史と品質を誇る

ほみ饅頭
總本家 かん川

●尾崎店	J A 西播磨尾崎支店前	TEL 0791 (45) 0202
●新田店	関西福祉大北(海浜線)	TEL 0791 (45) 7333
●上郡店	上郡駅前通り	TEL 0791 (45) 0207

謹賀新年

9枚、横5・5枚の名刺サイズで二つ折。店舗の名前と「赤穂観光協会」が記載されたカードが、JR播州赤穂駅の観光案内所と大石神社、花岳寺などで配布されています。



飲食、土産物、宿泊施設 カードでお店をPR 観光案内所などで配布

赤穂観光協会は市内のレストランや土産物店などを1店につき一枚ずつ印刷したPRカードを約85店舗に配布しています。観光客がお自分で役立ててもらえば同協会が視聴先で見ての店を見つけるのに役立つかもしれません。

（観光客がお自分で役立ててもらえば）

（同協会が視聴先で見て）

（見ての店を見つけるのに役立てる）

（役立てる）

<p